



株式
会社

ライフコーポレーション

第69回 定時株主総会



第69期連結会計年度の概況

日本経済および小売業界の状況

日本経済

- インフレの継続、円安の影響
- ウクライナ侵攻、中東情勢の緊迫化
- 新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更、行動制限の撤廃

企業業績は好調に推移

日本経済および小売業界の状況

食品スーパー業界

- 商品価格上昇
- 人件費や各種コストの上昇

**一方、企業運営を取り巻く環境は
予断を許さない状況**

経営理念・方針

経営理念

- 「志の高い信頼の経営」を通じて
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

ビジョン

- ライフ全店舗がお客様から
「最も信頼される地域一番店」になる。
- 「信頼」とは「信用」されて「頼り」にされること。
- 「お客様からも社会からも従業員からも信頼される
日本一のスーパーマーケット」を目指す。

ライフらしさ宣言

- 今日も見つかる、新しいLife。



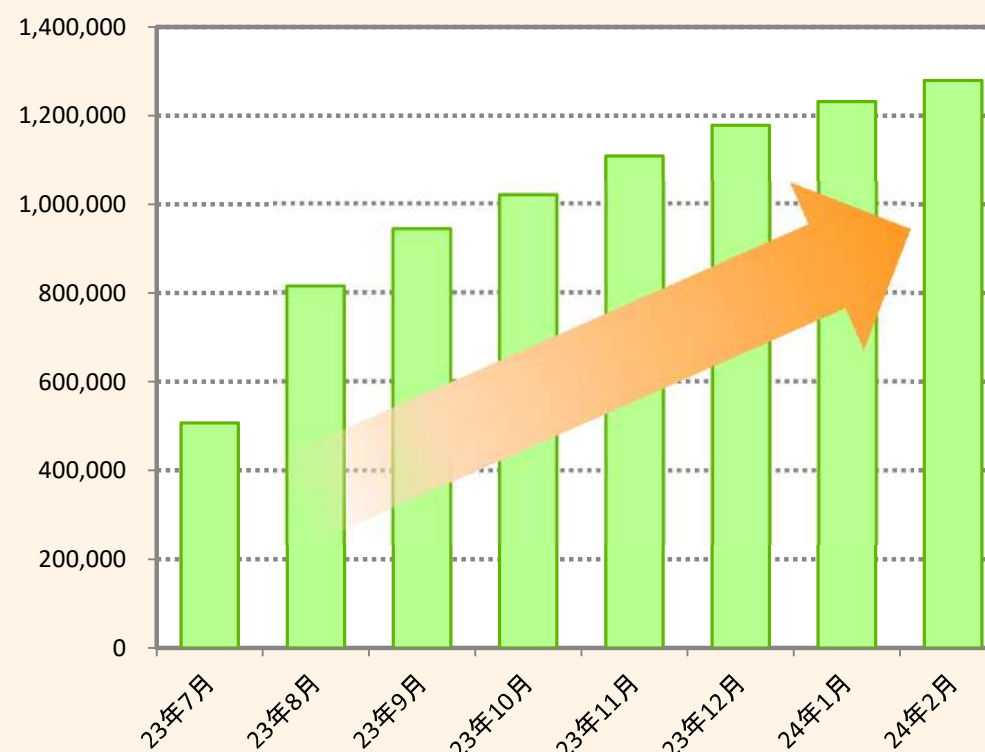
第七次中期経営計画を推進

当連結会計年度取り組み ライフアプリリニューアル

➤ 7月 スマホアプリ刷新



➤ ライフアプリ リニューアル後の累計ユーザー数



※累計ユーザー数…インストール数を指します。

当連結会計年度取り組み 作業軽減・業務効率化



電子棚札

近畿圏にも導入拡大

AI需要予測による発注自動化

生鮮部門にも範囲拡大

作業軽減、
業務効率化に寄与

当連結会計年度取り組み 作業軽減・業務効率化

電子棚札

近畿圏にも導入拡大

AI需要予測による発注自動化

生鮮部門にも範囲拡大



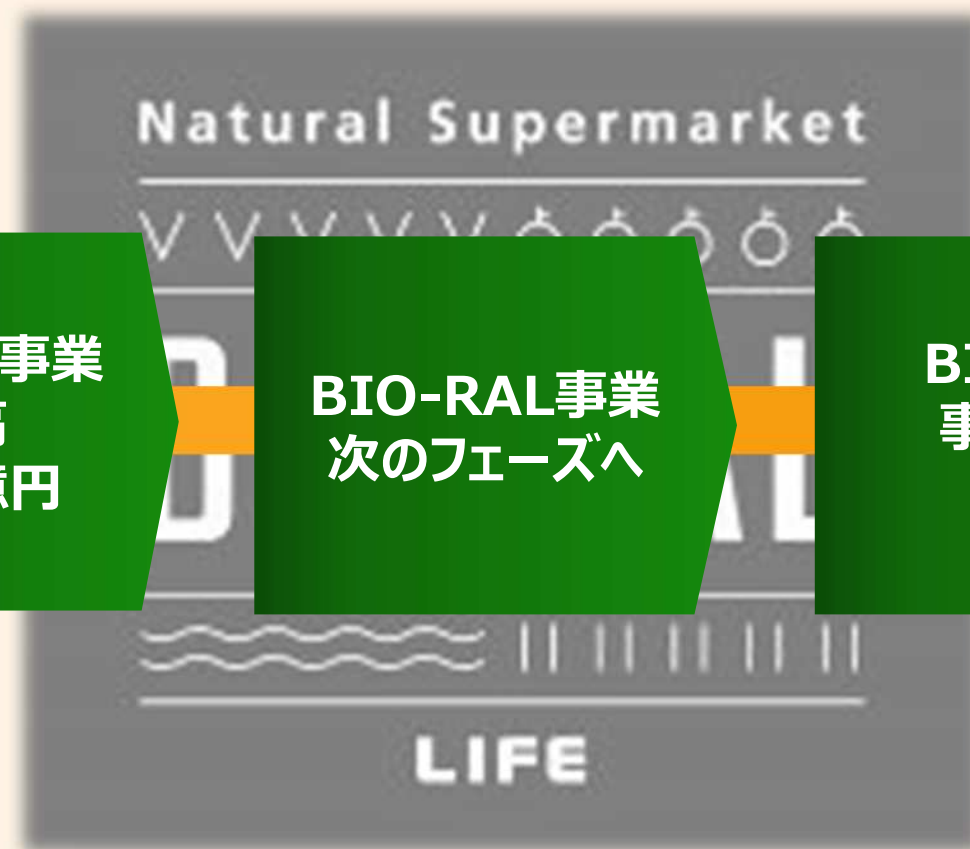
作業軽減、
業務効率化に寄与

当連結会計年度取り組み BIO-RAL事業

BIO-RAL事業
売上高
約100億円

BIO-RAL事業
次のフェーズへ

BIO-RAL
事業本部
設置



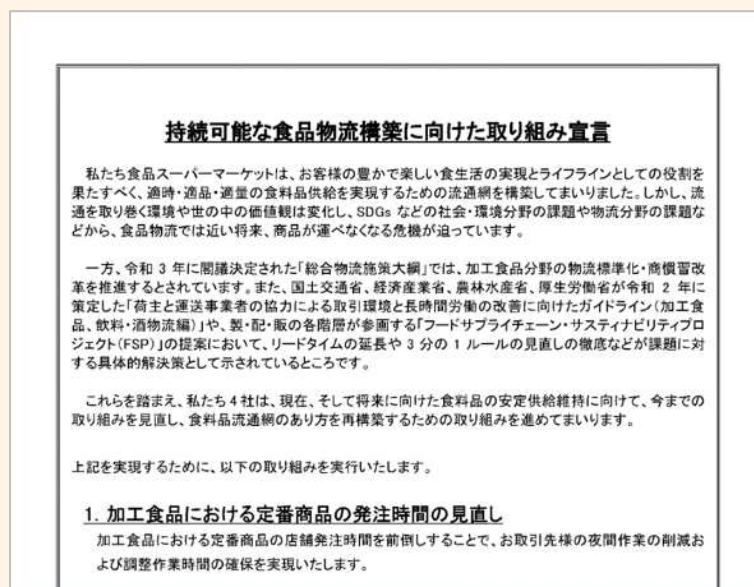
当連結会計年度取り組み 子ども食堂への寄付活動

➤ 子ども食堂等への寄付活動を合計18拠点で実施



当連結会計年度取り組み SM物流研究会

- 2023年3月 持続可能な食品物流構築に向けた取り組み宣言
首都圏SM物流研究会 発足
- 2023年10月 SM物流研究会 10社に拡大



※首都圏SM物流研究会は首都圏以外からの参加を踏まえ、全体会となる「SM物流研究会」とエリア部会の「首都圏SM物流研究会」の2部制に変更。

当連結会計年度取り組み SM物流研究会

具体的取り組み

- 加工食品における定番商品の発注時間の見直し
 - 特売品・新商品における発注・納品リードタイムの確保
 - 納品期限の緩和
 - 流通BMSによる業務効率化
-

当連結会計年度取り組み SM物流研究会

- 「サプライチェーン イノベーション大賞」 受賞
- 「第53回食品産業技術功労賞」 受賞



※サプライチェーン イノベーション大賞…製・配・販連携協議会がサプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下で優れた取り組みを行い、業界を牽引した事業者に対しその功績を表彰するもの。

※食品産業技術功労賞…食品産業新聞社が食品産業の発展に著しく貢献した技術及び商品等を開発した企業・団体を顕彰するもの。

当連結会計年度取り組み SM物流研究会

- 「サプライチェーン イノベーション大賞」 受賞
- 「第53回食品産業技術功労賞」 受賞



2024年3月 5社入会

現在は計15社で活動を継続

※サプライチェーン イノベーション大賞…製・配・販連携協議会がサプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下で優れた取り組みを行い、業界を牽引した事業者に対しその功績を表彰するもの。

※食品産業技術功労賞…食品産業新聞社が食品産業の発展に著しく貢献した技術及び商品等を開発した企業・団体を顕彰するもの。

当連結会計年度取り組み 天保山バイオガス発電設備



新東京本社



2024年2月26日

東京都品川区
東品川四丁目12番3号
品川シーサイドTSタワー

当連結会計年度取り組み セントラルスクエアららぽーと門真店

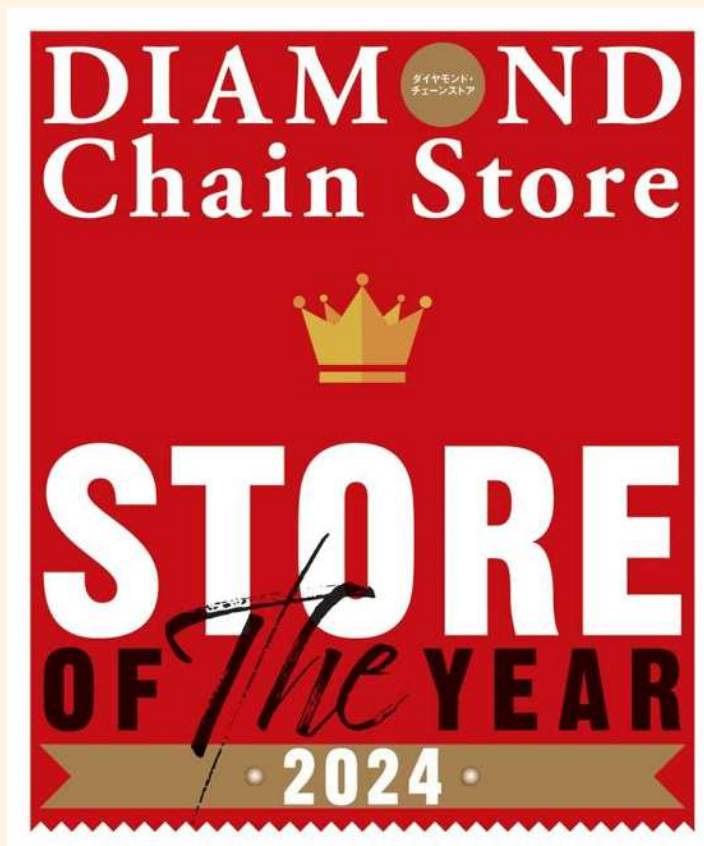
➤ 2023年4月 開店



店舗コンセプト

日々のお買い物を便利から楽しいへ。
想像を超えるワクワクとおいしさに
“彩”を付加し、「ららぽーと門真」でしか
味わえない体感・体験・発見で
“最高のENJOY”を提供する！

当連結会計年度取り組み セントラルスクエアらぽーと門真店



当連結会計年度取り組み セントラルスクエアらぽーと門真店



当連結会計年度取り組み セントラルスクエアらぽーと門真店



近畿圏・首都圏
合計300店舗達成



当連結会計年度取り組み ビオラル有明ガーデン店



新規出店

宝塚中山寺店

兵庫県宝塚市（2023年3月 開店）



ビオラルパルコヤ上野店

東京都台東区（2023年3月 開店）

川崎塚越店

神奈川県川崎市（2023年4月 開店）



セントラルスクエアらぽーと門真店

大阪府門真市（2023年4月 開店）

新規出店

梅島駅前店

東京都足立区（2023年6月 開店）



桜ノ宮店

大阪府大阪市（2023年9月 開店）



ビオラル有明ガーデン店

東京都江東区（2023年6月 開店）



新規出店

勝どきミッド店

東京都中央区（2023年10月 開店）



阪神芦屋店

兵庫県神戸市（2024年1月 開店）



下目黒店

東京都目黒区（2023年11月 開店）

新規出店

近畿圏167店舗

首都圏138店舗

当社店舗数 合計305店舗

※2024年2月末時点

兵庫県
19店舗

京都府
18店舗

埼玉県
7店舗

東京都
95店舗

大阪府
127店舗

奈良県
3店舗

神奈川県
31店舗

千葉県
5店舗

既存店舗の大型改装



既存店舗の大型改装



此花伝法店



春日野道店



杭全店

既存店舗の大型改装



当社グループの業績



当社グループの業績

	2024年2月期	増減率
営業収益	8,097億 900万円	+ 5.8%
営業利益	241億1,800万円	+ 26.0%
経常利益	249億4,800万円	+ 24.6%
当期純利益	169億3,800万円	+ 27.1%

販管費

- 賃借料等の各種物件費の増加、人件費の増加
- 生産性の向上、コスト最適化
- 将来に向けた積極的な投資



対処すべき課題

外部環境 今後の見通し

日本経済

- インバウンド需要の回復
- 物価上昇を上回る賃上げの実現、
個人消費の拡大

景気は回復基調

外部環境 今後の見通し

海外

- 自然災害の多発
- 欧米の財政・金融・通商政策、
中国経済の動向
- 地政学リスクの高まり

引き続き楽観できない状況

外部環境 今後の見通し

小売業界

- 金融資産の増加、賃金の上昇
- 物価高、人手不足
- 業種を超えた生鮮食品分野への進出

業界内の動きは激しい

経営理念・方針

経営理念

- 当社の経営の基本となる
考え方、存在意義

**ビジョン
ライフらしさ宣言**

- 中長期的に当社が目指す
姿

行動基準

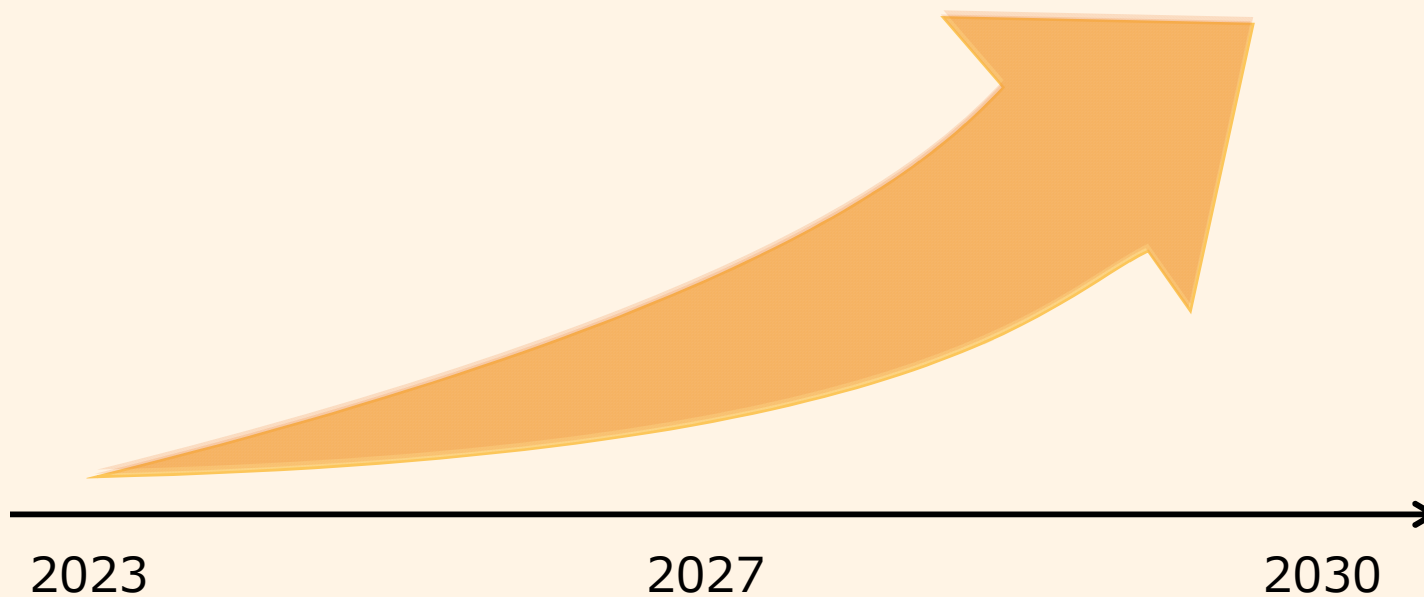
- 上位概念に基づき
順守すべき行動の基準

**環境方針 人権方針 調達方針
マルチステークホルダー方針
パートナーシップ構築宣言**

- 上位概念に基づく具体的
な方針・宣言

2030年度に目指す姿

2030年度



2030年度に目指す姿

財務面	2030年度 定量目標
売上高	1兆円
経常利益	350億円
当期純利益	220億円
店舗数	400店舗

2030年度に目指す姿

非財務面	2030年度 定量目標
CO2排出量	50%削減(2013年度比)
食品廃棄量	50%削減(2017年度比)
従業員満足度	4.0(5.0満点)
女性管理職比率	20%(管理職内比)
男性育児関連休暇取得率	100%

2030年度に目指す姿

地域密着のスーパーマーケットとして、
「私のスーパーマーケット」と言っていただける会社になる



第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）

人への投資

- 従業員の成長/ES向上

同質化競争からの脱却

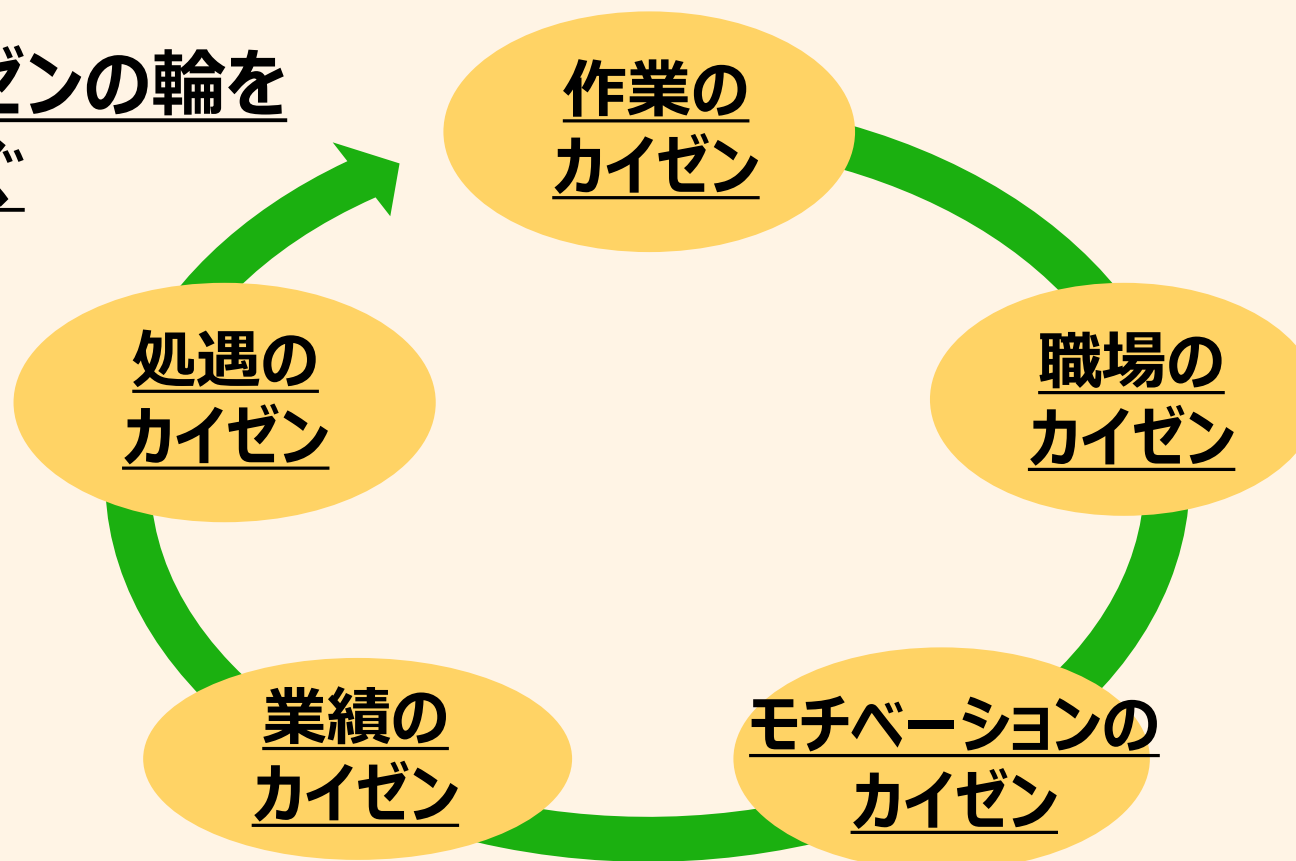
- ライフにしかない魅力的な商品の充実
- 魅力的なリアル店舗
- 便利なネット環境の実現

持続可能で豊かな 社会の実現に貢献

- 経済的価値/社会的価値
- 環境的価値の創造

第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）カイゼン活動

カイゼンの輪を
つなぐ



第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）キーワード

キーワードは「つながり」

お客様

地域社会

より良いlife(暮らし・生活)・より良い社会

お取引先様

株主・投資家
の皆様

第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）

今日も見つかる、新しいLife。

とっても新鮮な食材。ホントに美味しいお惣菜。
そして、温かな笑顔で迎えてくれる。

ライフには、いつも“おいしい” 何かが待っている。
ライフなら、今日もきっと“ワクワク”が見つかる。

いつもの暮らしに、ちょっと“ハッピー”をくれる。
私の新しいLife。

ライフは、私のスーパーマーケット。

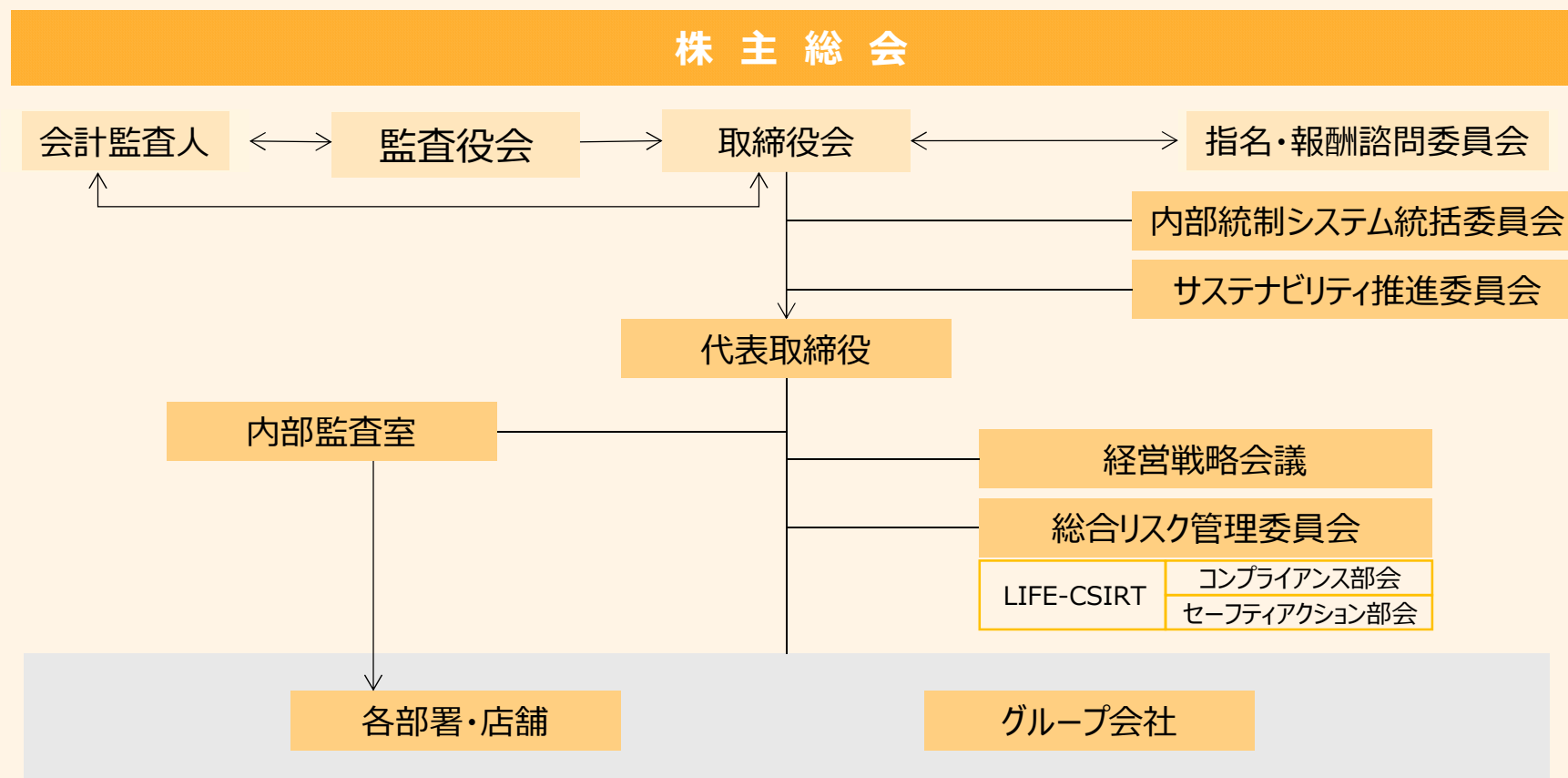
業績予想

社会経済活動の正常化、賃金の上昇
 商品価格上昇の落ち着き、継続的な物価高

▶ 業績動向の見極めが
非常に困難

	2025年2月期	増減率
営業収益	8,534億円	+5.4%
営業利益	247億円	+2.4%
経常利益	255億円	+2.2%
当期純利益	170億円	+0.4%

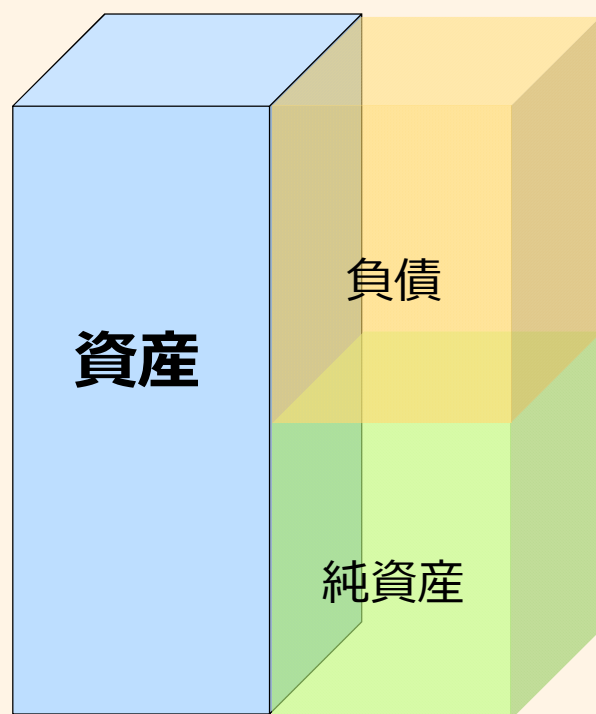
コーポレートガバナンス





連結計算書類

連結貸借対照表



流動資産	828億4,900万円
-------------	--------------------

前期差	23億5,900万円 増加
-----	---------------

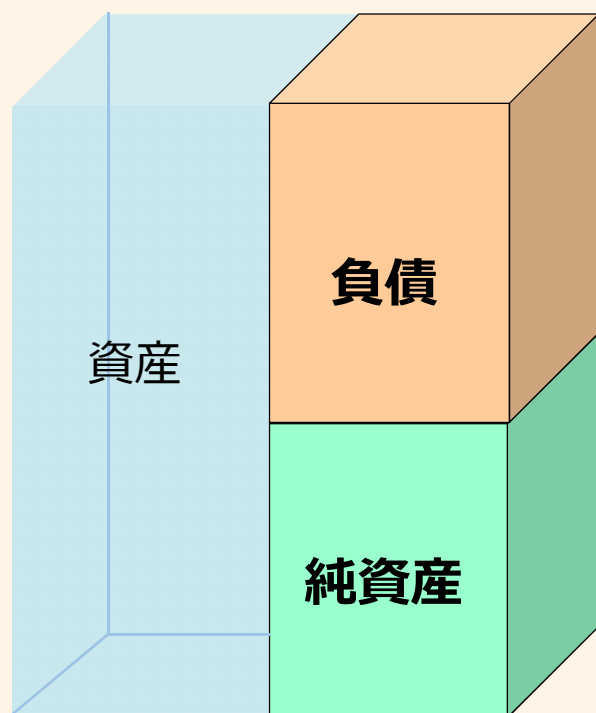
固定資産	2,042億9,700万円
-------------	----------------------

前期差	39億7,800万円 増加
-----	---------------

資産合計	2,871億4,600万円
-------------	----------------------

前期差	63億3,600万円 増加
-----	---------------

連結貸借対照表



負債合計 1,502億9,000万円

前期差 85億1,700万円 減少

純資産合計 1,368億5,500万円

前期差 148億5,300万円 増加

計算書類(連結・単体)

- 連結損益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 株主資本等変動計算書
- 連結注記表・個別注記表

当社ウェブサイト等に掲載

ビジョン

ライフ全店舗がお客様から
『最も信頼される地域一番店』になる
『信頼』とは、『信用』されて
『頼り』にされること
『お客様からも社会からも
従業員からも信頼される
日本一のスーパーマーケット』
を目指します





株式
会社

ライフコーポレーション

第69回 定時株主総会